

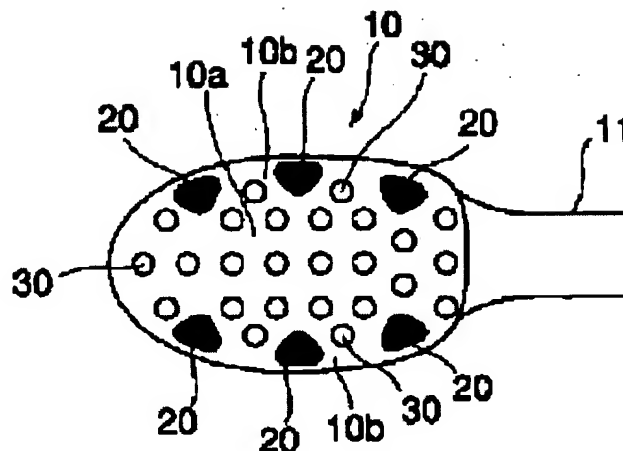
TOOTHBRUSH

Publication number: JP2000300347
Publication date: 2000-10-31
Inventor: SUZUKI AKIRA; MAEDA AKITSUGU
Applicant: KAO CORP
Classification:
 - international: **A46B9/06; A46B9/04; A46B9/00; (IPC1-7): A46B9/06**
 - european:
Application number: JP19990114825 19990422
Priority number(s): JP19990114825 19990422

Report a data error here

Abstract of JP2000300347

PROBLEM TO BE SOLVED: To effectively massage a border gum part by forming rubber-like bar brushes having a cross section form widening an outer peripheral side compared with the center side of a bristle implanting base at a part of the longitudinal border part of a bristle implanting base surface. **SOLUTION:** At the longitudinal border part 10B of the bristle implanting base surface of a bristle-planting base 10 successively formed at the tip of a handle 11, rubber-like bar brushes 20 are implanted by proper number. The shape of the cross section of these brushes 20 is nearly a triangle widening an outer peripheral side compared with the center side of the base 10. Namely, one corner faces the side of a center and its opposed edge part is positioned nearly in parallel with the longitudinal border part 10b of the base 10. In addition, the brushes 20 is gradually tapered upward and its top part 21 is rounded. Thus, even a border gum part is reliably attained and the high massaging effect of the gums by its elastic sliding operation.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

BEST AVAILABLE COPY

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号
特開2000-300347
(P2000-300347A)

(43)公開日 平成12年10月31日(2000.10.31)

(51)Int.Cl.

識別記号

F I

キーワード(参考)

A 4 6 B 9/06

A 4 6 B 9/06

3 B 2 0 2

審査請求 有 請求項の数5 O L (全 3 頁)

(21)出願番号 特願平11-114825

(22)出願日 平成11年4月22日(1999.4.22)

(71)出願人 000000918

花王株式会社

東京都中央区日本橋茅場町1丁目14番10号

(72)発明者 鈴木 明

東京都墨田区文花2-1-3 花王株式会
社研究所内

(72)発明者 前田 晃嗣

東京都墨田区文花2-1-3 花王株式会
社研究所内

(74)代理人 100068700

弁理士 有賀 三幸 (外4名)

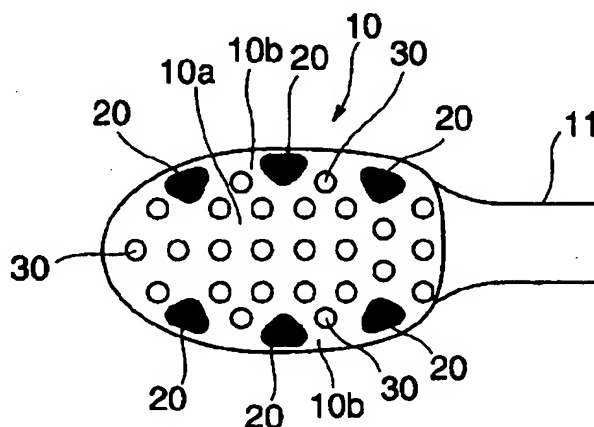
Fターム(参考) 3B202 AA06 AB02 BA12 EA01 EA03
EA06 EB13 EB14 ED01

(54)【発明の名称】 歯ブラシ

(57)【要約】

【課題】 辺縁歯肉部への高いマッサージ効果を得ることが
できる歯ブラシの提供。

【解決手段】 植毛台面の長手辺縁部の少なくとも一部
に、植毛台の内央側に比し外周側に於て巾広となった横
断面形状を有するゴム様棒状刷子を植設した歯ブラシ。



BEST AVAILABLE COPY

【特許請求の範囲】

【請求項1】 植毛台面の長手辺縁部の少なくとも一部に、植毛台の内中央側に比し外周側に於て巾広となった横断面形状を有するゴム様棒状刷子を植設した歯ブラシ。

【請求項2】 横断面形状が略三角形形状を呈している請求項1記載の歯ブラシ。

【請求項3】 横断面形状が略台形状を呈している請求項1記載の歯ブラシ。

【請求項4】 ゴム様棒状刷子が上方に向って細身となっている請求項1～3の何れか1項記載の歯ブラシ。

【請求項5】 ゴム様棒状刷子の頂部が丸味を呈している請求項1～4の何れか1項記載の歯ブラシ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は歯垢の除去と共に、歯ぐきをマッサージすることができる歯ブラシ、特に歯ぐきマッサージ用ゴム様棒状刷子を植設した歯ブラシに関する。

【0002】

【従来の技術】歯ぐきのマッサージを目的とする歯ブラシとしては、刷毛束自体によるものやゴム様棒状刷子を用いるものが存するが、後者のゴム様棒状刷子としては、例えば横断面形状が長方形形状を呈するものを、その長辺部が植毛台の長手辺縁部と平行になるように植設したもの（実開昭50-116658号公報）等が既に知られている。

【0003】従来の歯ブラシに於けるゴム様棒状刷子は、その横断面形状が上記の如き長方形形状を初めとして何れも植毛台の内側方向と外側方向に於て同巾となっているが故に、使用時に植毛台の外側方向のみならず、内側方向にもほぼ同等にたわみ易いため、辺縁歯肉部と接触しにくく、自ずと当該歯肉部へのマッサージ効果が低い、と云う問題があった。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】本発明は、斯かる従来の歯ブラシの問題を解消し、特に辺縁歯肉部への高いマッサージ効果を得ることができる歯ブラシを提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】本発明歯ブラシは、上記目的を達成するために、植毛台面の長手辺縁部の少なくとも一部に、植毛台の内中央側に比し外周側に於て巾広となった横断面形状を有するゴム様棒状刷子を植設して構成したものである。

【0006】ここに横断面形状としては、ゴム様棒状刷子が使用時に植毛台の内側方向より外側方向にたわみ易いように、内中央側に比し外周側に於て巾広となっているものであれば、その具体的な形状の如何を問わないが、特に略三角形形状や略台形状を呈するものが外側方向のたわみ性に優れ、好ましい。この場合、角部は適宜丸味を付

与するのが口中に於けるソフトな接触感を得る上で好ましい。また、ゴム様棒状刷子は全体が同じ太さの角棒状等としても良いが、上方に向って細身とするのがたわみ弾性によるマッサージ効果に優れ、更にその頂部にも適宜丸味を付与するのが、上記と同様にソフトな接触感を得る上で好ましい。

【0007】

【発明の実施の形態】以下本発明の実施の形態を図1～3に基いて説明する。

【0008】図1及び2に於て10は柄部11の先部に連成された植毛台で、該植毛台面10aの対向する長手辺縁部10bに、ゴム様棒状刷子20が適宜数植設されている。

【0009】このゴム様棒状刷子20の横断面形状は、植毛台10の内中央側に比し外周側に於て巾広となった略三角形形状を呈している。換言すれば、一つの角部が内中央側に向けられ、その対辺部が植毛台10の長手辺縁部10bとほぼ平行に位置せしめられている。因に、当該三角形形状に於ける角部には全て丸味が付与されている。

【0010】また、このゴム様棒状刷子20は、図2に示す如く、上方に向って徐々に細身となっていると共に、その頂部21には丸味が付与されている。尚、ゴム様棒状刷子20は、たわみ弾性を保持するものであれば、ゴムやゴム様合成樹脂製等その材質の如何を問わないが、例えばスチレン・ブタジエンゴム、エチレン・プロピレンゴム、シリコーンゴム等が好ましいものとして挙げられる。

【0011】30は刷毛束で、従来と同様植毛台10の植毛台面10aに適宜数植毛されているものである。尚、刷毛束30材質としては天然毛あるいはナイロンやポリブチレンテレフタレート製等の人造毛等その如何を問わない。

【0012】図3はゴム様棒状刷子21の他の横断面形状例を示すもので、略台形状を呈しており、平行辺の短辺部21aを植毛台10の内中央側、同長辺部21bを植毛台10の外周側に位置せしめて植設される。

【0013】

【発明の効果】本発明歯ブラシによれば、ゴム様棒状刷子が使用時に植毛台の内側方向に比し外側方向により大きいたわみ性を奏するため、辺縁歯肉部まで確実に達し、その弾性摺動作用により高い歯ぐきマッサージ効果を得ることができるので、歯肉炎等の改善にも著しい効果が得られる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明歯ブラシの植毛台部の平面模式説明図。

【図2】本発明歯ブラシの植毛台部の正面模式説明図。

【図3】ゴム様棒状刷子の他の横断面形状例を示す拡大説明図。

【符号の説明】

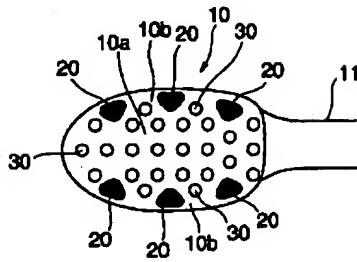
10：植毛台

BEST AVAILABLE COPY

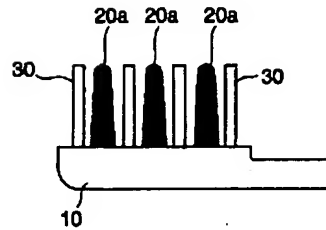
10a: 植毛台面
 10b: 長手邊緣部
 11: 柄部
 20: ゴム様棒状刷子
 20a: 頂部

21: ゴム様棒状刷子
 21a: 平行短辺部
 21b: 平行長辺部
 30: 刷毛束

【図1】



【図2】



【図3】

